

# 5 県連携に係る基礎調査

## 【調査報告書】

茨城県企画部

# 目次

調査概要	1
<b>第1章 5県の現状と課題</b>	
5県概要マップ	2
1. 各県の沿革、風土	3
2. 人口分布	7
3. 県民性	8
4. 経済力	11
5. 産業動向	12
6. 生活文化水準	14
7. インフラの整備状況	
(1) 道路	15
(2) 鉄道	16
(3) 港湾	17
(4) 空港	18
8. 地域のイメージ	19
5県に関するデータ	21
5県における強み・弱み	23
<b>第2章 交流の実態</b>	
1. 観光	24
2. 物流	26
<b>第3章 5県のプロジェクト</b>	
(1) 茨城県	28
(2) 福島県	31
(3) 栃木県	33
(4) 群馬県	35
(5) 新潟県	37
<b>第4章 5県の広域連携</b>	39
<b>第5章 新たな連携の方向性</b>	
1. 本調査結果の要約	44
2. 本調査結果から考察される今後の新たな連携の方向性	47
<b>第6章 広域連携を推進するにあたっての方策案</b>	
1. 広域的な観光	48
2. 広域連携による5県地域防災体制の推進について	51
3. 広域的な廃棄物の処理について	58

## 調査概要

### 1. 調査の目的

茨城・福島・栃木・群馬・新潟にまたがる地域は、首都圏から南北に伸びる常磐道・東北縦貫、関越・東関東自動車道や、東日本を横断する北関東・磐越・上信越自動車道などの高規格幹線道路を有し、福島・新潟・百里（開港予定）の空の玄関口、常陸那珂港・小名浜港・新潟港などの海の玄関口の整備が進んでいるほか、筑波研究学園都市・宇都宮テクノポリスや郡山・信濃川テクノポリスなど研究開発機能も集積するなど発展基盤の整備が着実に進行している。

21世紀において予想されている人口の減少等に対応するため、適切な役割分担のもと、5県が連携して「人・もの・情報」などの交流により活気と創造に満ちた地域を形成していくことが重要であると考えられる。

そこで、本事業は5県の有する特長的な機能を調査・分析し、最適な機能分担と連携のあり方について検討をおこなうこととする。

### 2. 調査の内容

#### (1) 5県の実態調査

茨城・福島・栃木・群馬・新潟の各県に関して、以下の項目について、既存統計データ等の調査を行い、図表化する。

県の沿革・風土

県内の社会資本の整備状況（道路・鉄道・港湾・空港等）

各県が実施している主なプロジェクト

各県主要地域ごとの特徴（人口分布・工業地帯や商業地域の分布等）

#### (2) 5県間の交流調査

茨城・福島・栃木・群馬・新潟の各県間の交流に関して、以下の項目について、既存統計データ等の調査を行い、図表化する。

各県間、主要地域間及び5県地域と域外の交流人口

各県間、主要地域間及び5県地域と域外の物流量

#### (3) 5県地域における役割分担の検討

今後、各県の地域連携における役割分担を検討するため調査に基づく資料作成。

調査・検討結果をプロジェクトマップ化（電子データ化）

### 3. 調査方法等

調査方法：既存の公表されている統計データの収集・分析、関係機関からの聴集等。

調査期間：2004年12月～2005年3月